



2022.7.12 第18号

森田 博

6年「生き物のくらしと環境」
顕微鏡で見えたものとは!?

理科室で、生き物の根源を探る!!～動物プランクトンと植物プランクトン～

今回（7月7日～8日）の理解室はプランクトンフィーバーでした!!みんなたくさん見つけました!!



スタウラストルム（児童）



ミジンコ（森田）



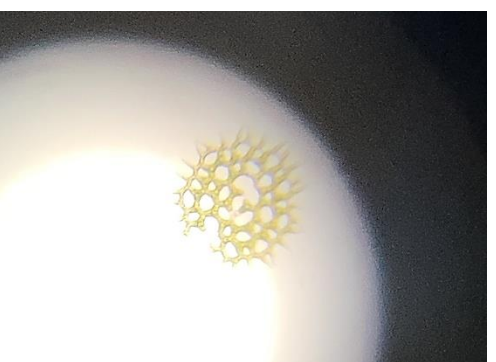
ミクラステリアス（児童）



ミクラステリアス（森田）



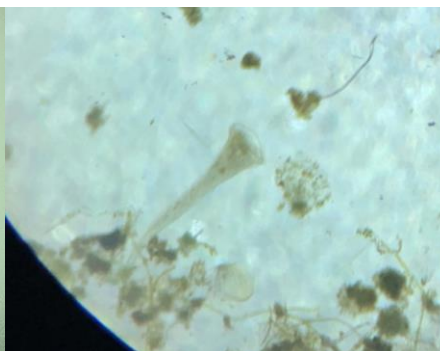
ヤマトヒゲナガケンミジンコ（児童）



ビワクンショウモ（児童）



★プレオドリナ（児童）



ラップムシ（森田）



オナガミジンコ（森田）



左上:ヤマトヒゲナガケンミジンコ 右下:オナガミジンコ

こちらは相当興奮気味で子どもたちに見せました。2種の共演です。一つのレンズに2種類のミジンコが映ってくれました。

「食物連鎖」を学習しました。ヒトが牛肉や鶏肉、魚を食べます。牛は草を、鳥はトカゲやミズを、トカゲは昆虫を、ミズやダンゴムシは枯葉を、魚はプランクトンを、動物プランクトンは植物プランクトンを…とたどっていくと、行きつくところは、「植物」です。この植物プランクトンを顕微鏡で見つけることができました。「先生、これ何!?」「おお!!」「動いている!!」「めっちゃいる!!」と各班からロ々に聞こえてきました。みんな夢中でプランクトンを顕微鏡で見つけました。

★プレオドリナ…名前が分からなかったのが、琵琶湖博物館の先生に教えていただきました。32個から128個の細胞が楕円形に並んだ群体をつくるそうです。